

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 23日

事業所名 フォレストディセンター鹿ノ台

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	1	・親子教室では少し狭さを感じるので、状況によっては別室を使う場合もある。 ・定員数を超えないように調整している。
	2	職員の配置数は適切である	2	1	・1対1対応が必要な児童に対応できていない
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	1	・おもちゃや箱には写真等で何がないか子どもたちにもわかりやすくしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	・児童が怪我等しないよう、危険なものは手に届くところに置かない。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	2	・一部職員だけになっている時もある ・振り返えられる時間が必要
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		・年1回のアンケートは実施しているが、細かい設問ではないので、業務改善につなげられていない。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	2	・改善内容を公開できていない。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	・年3回テーマを決めて研修を行っている。研修内容は職員間で決めていけたら実践に生かせる。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	3	0	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	1	・現在検討中
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	・毎月モニタリングを行い、状況により支援を考える様にしている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	・担当を決めて順番に立案し、会議の中で内容をチームで確認している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	児童書を参考にマンネリにならないように工夫し、プログラムを考えている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	2	1	・個別指導の時間は確保されていないが、適宜行っている。 ・集団活動が多く個別活動を並行して同レベルで持つ必要がある。

		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		1	2	・打ち合わせする時間はないが、バイタル表、分担表を確認し行うようにしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		1	2	・必ずではないが、バイタル表を記入する際、話したり、いない場合は確認する。ケース記録を活用するようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		3	0	・終了後に一人ひとりの児童について気付いた事を記入し情報共有。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している		3	0	・毎月モニタリングを実施。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		2	1	・気になる様子は他機関とも連携を取るようにしているが、こちらからの開催は行っていない。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		3	0	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		—	—	該当しない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		—	—	該当しない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		3	0	・1人1回程度ではあるが訪問し、担任や園長等と連携する機械を持っている。その後は電話などで必要に応じ行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		2	1	・文章で保護者から渡したり伝えたりしていただくようしている。
関係機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		2	1	・研修案内があれば参考にしている。 ・助言を受けてはいるが、研修も受ける必要がある。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		0	3	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		3	0	・主任が担当者として参加。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持つている		3	0	・送迎の際に気になることを伝えたり、コミュニケーションを取るように心がけている。年2回程、療育相談を行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		0	2	・こちらでは行っていないが、その機会がある情報は知らせている。 ・保護者に対しての細かいところまではできていないので、する必要がある。
運営	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		3	0	・面接、利用時に説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		3	0	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	・保護者会は行っていないが、親子教室を開催し交流の場を作っている。イベント時に、保護者だけで話し合う機会を設けている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	2	・今後、活動内容や行事など、定期的にホームページに掲載しようと考えている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	3	0	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0	・マカトンサイン、ジェスチャーなどを添え伝えている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	2	
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	1	・契約時に説明しているが、防犯については今後の検討課題。 ・プログラムの中に避難訓練を入れ、児童に伝えるようにしている
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	・契約時に説明し、職員のみで行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	3	0	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	・指示書などの提出義務はないので、そこは検討する。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	1	2	・個々に起きたことは個人ファイルへ入れている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	1	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	1	2	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 フォレストデイセンター鹿ノ台 保護者等数(児童数) 24 回収数 16 割合 66 %

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	13	2		1	・スペースの大きさはどのくらいが適切なのかわからない ・少し狭い気がする
	2 職員の配置数や専門性は適切である	12	3		1	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12	2		2	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14	2			・部屋のクッションマットが少し汚れている ・新しい設備ではありませんが、アットホームな雰囲気の良い環境だと思います
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	16				
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	14	2			
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	13	1		2	
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	12	1		3	・工作など、手を使って作ることがとても楽しいようです。今後も持つて帰ってくるのが楽しみです。歌も歌えるようになってきたのがびっくりしました
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	11		2	3	
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	16				
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	15	1			
適切な支援の提供	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングⅣ等)が行われている	12	3		1	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができるているか	15			1	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	14	2			・面談の際など、いつも丁寧に対応して下さってありがとうございます。説明等もわかりやすいです
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	9	2	2	3	・保護者会はいつあったのかわからないが、親子教室である程度のつながりは持てていると思う
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	15	1			
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	16				

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	10	1	1	4	
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	14	1		1	
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	8			8	
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	5	1	1	9	・発達が偏っている子の行動から、災害時何か良い工夫があれば教えてください
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	11	3		2	・いつも楽しく過ごしています ・通所をすごく楽しみにしている時と、そうでない時の気分のムラがひどいですが、帰る時いつも笑顔なので、満足なのかなあと思います ・子どもは楽しく通っているので、安心しておまかせできます
	23 事業所の支援に満足している	12	2		2	・日々、支援をいただきありがとうございます ・親としてはイライラすることも減り、とても助かっています ・1年を通して、1日の行動の流れがスムーズにできるようになりました

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。